

病理組織診断書

施設 0 見本 動物病院

飼主姓 見本 動物名 さくら カルテNo NHSL123456

年齢 12 歳 4 カ月 性別 避妊メス

動物種 イヌ 品種 ヨークシャテリア

材料 膝窩リンパ節

New Histo. Science Laboratory Co., Ltd.

受付日 2016 年 04 月 04 日 受付No 604006

お問い合わせ diagnosis@hslabo.co.jp

お電話によるお問い合わせは、
平日9時より17時30分までをお願いします。

診断名

リンパ腫

組織所見およびコメント

【所見】

膝窩リンパ節では、円形細胞がび漫性に腫瘍性増殖しています。腫瘍細胞の増殖によりリンパ節の既存構造は破綻しています。腫瘍細胞は類円形を呈しており細胞質は狭く、リンパ系細胞に類似しています。腫瘍細胞の核は中型もしくは大型であり、単一もしくは複数の明瞭な核小体がみられます。核分裂像は部位により中等度から多数認められます(3-7/high-power field)。本標本上、切除縁に明らかな腫瘍細胞の露出は認められません。

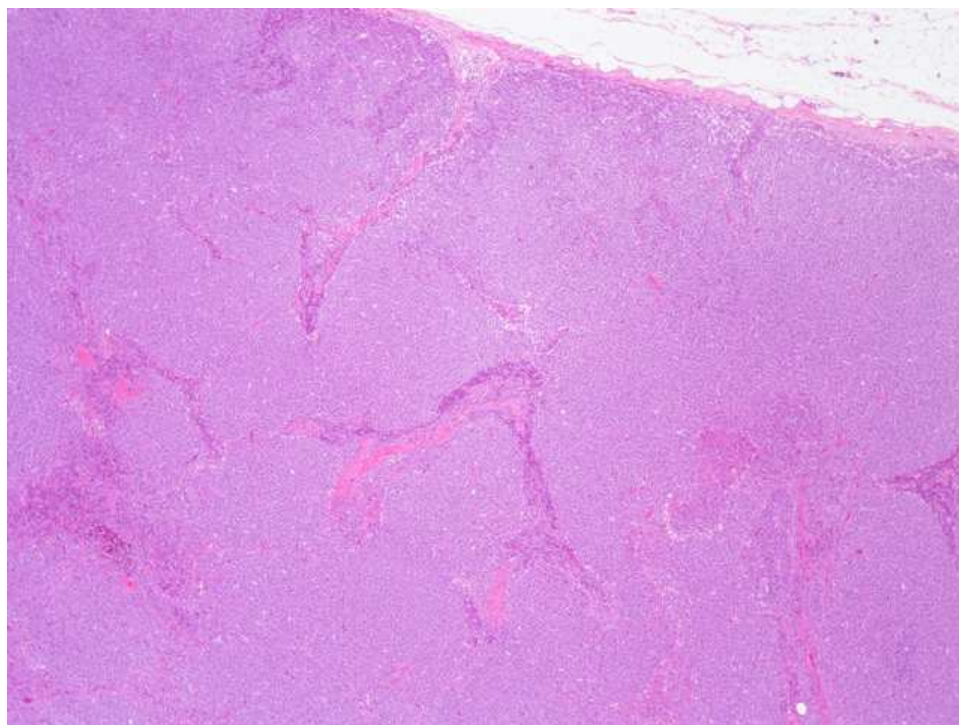
【コメント】

膝窩リンパ節はリンパ球に由来する悪性腫瘍です。細胞の特徴や核分裂指数、増殖パターンから高グレード(高悪性度)と判断されます。WHO分類では、形態学的に特徴的なものを除き、免疫学的表現型(T細胞あるいはB細胞などの鑑別)が必要となります。患者さんの場合は、遺伝子検査により「B細胞の腫瘍性増殖」という結果が出ておりますので、上記病理所見との総合的判断によりWHO分類ではび漫性大細胞B細胞性リンパ腫(DLBCL, Diffuse large B-cell lymphoma)に分類されます。全身性疾患として適切な処置を実施されますようお勧め致します。

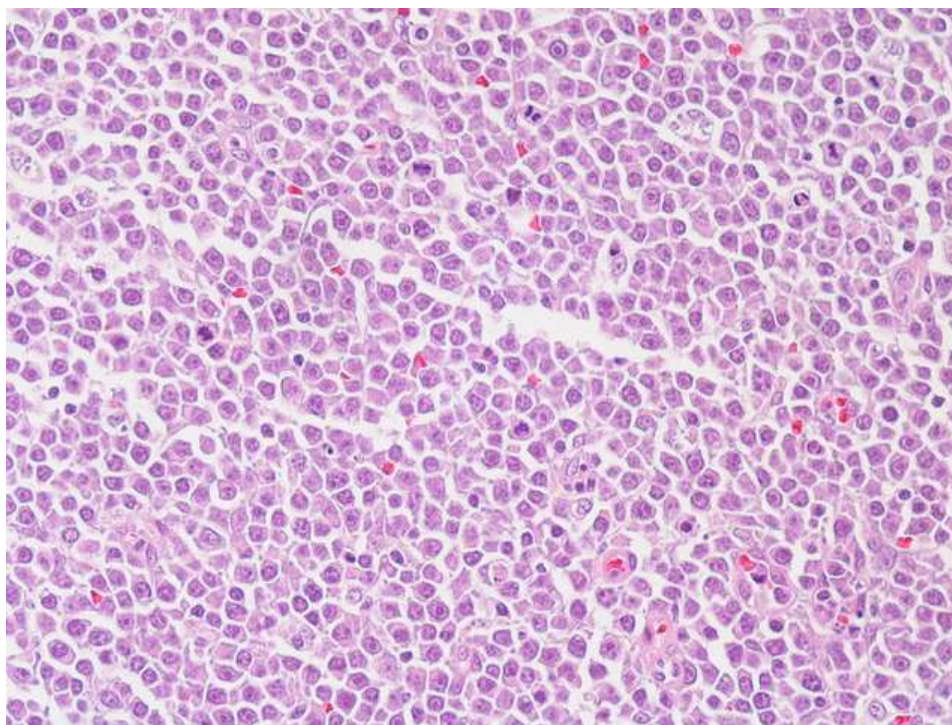
診断に関しましてご不明な点やご質問等がございましたら、お気軽に診断医までご連絡ください。

診断医:板橋 恵 獣医師、獣医学博士、日本獣医病理学専門家(JCVP)

[写真1]



[写真2]



写真コメント

写真1:膝窩リンパ節の低倍像です。
写真2:同部位の強拡大像です。

診断日 2016 年 04 月 08 日

獣医師

板橋 恵



株式会社新組織科学研究所

〒198-0005 東京都青梅市黒沢2-979-2 TEL 0428-74-4741

* 本報告書はA3サイズです。印刷される場合は、A4サイズに縮小してください。